



スポーツの秋

校長 片山 順也

様々な活動に適している季節であることから、「〇〇の秋」とよく言われますが、私は10月の声を聞くと、「10月10日」＝「体育の日」＝「スポーツの秋」という連想をしてしまいます。

以前の「体育の日」は、1964年10月10日に行われた、前回の東京オリンピック開会式を記念して1966年から祝日となっていました。2000年からは10月の第2月曜日が「体育の日」となっています。そして、昨年と今年は、東京でのオリンピック開会式の7月23日（昨年は7月24日）が、「体育の日」に代わり「スポーツの日」となりました。

昨年と今年は、オリンピックの関係で「スポーツの日」が夏の7月となりましたが、やはり、私は秋が多くのスポーツに適しているのではないかと考えています。（ちなみに、令和4年の「スポーツの日」は10月10日（月）です。）

本校の「運動会」も年度当初は、10月9日（旧体育の日近辺）を予定しておりましたが、残念ながら今般の状況により、変更を余儀なくされ、11月に2回、学年を分散して「体育学習発表会」として公開する予定になっております。秋もだいぶ深まった時期の11月にはなりますが、子供たちの日頃の体育学習の成果をぜひご覧ください。

さて、ここで「スポーツの秋」にちなんで、今年度の「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」の結果から、本校児童のスポーツ（体力）の状況を概観してみたいと思います。

各学年・学級の実態にはばらつきはありますが、全体的に練馬区の平均と比較して、上回っている傾向の種目は、「握力」と「上体起こし」でした。本校児童の「握力」が高い傾向にあるのは、もしかすると、低学年の頃から校庭の遊具（鉄棒、登り棒、雲梯、ジャングルジム等）で遊んでいる児童が多いことが一因となっているのかもしれないと考えています。

一方、全体的に練馬区の平均を下回っている傾向の種目としては、「50m走」や「立ち幅跳び」がありました。「50m走」については、日頃から休み時間に元気に校庭で走り回っている児童の姿を見ていたので、少し意外な印象を受けました。

学校では、これらの調査結果を分析しながら、今後も体力向上に向け、体育科の学習を中心に指導してまいりたいと考えております。そして、子供たちが生涯にわたって楽しみながらスポーツを続けるようになってほしいと願っています。

各ご家庭におきましても、児童が体力調査結果の表を持ち帰っていますので、参考にさせていただくとともに、これをきっかけに「スポーツの秋」に楽しく体を動かしてみたいと思います。

いよいよ10月から通常の授業が始まります。学校では引き続き感染症対策を講じながら、児童が多くの実りを得られる秋となるよう教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様におかれましても、引き続きご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

10月行事予定

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 4(月) 委員会 | 15(金) 遠足(4年) |
| 5(火) 発育測定(6年) | 18(月) 避難訓練 クラブ |
| 6(水) 発育測定(5年) | 19(火) 遠足(3年) |
| 7(木) 発育測定(4年) | 20(水) たてわり班活動(黄) |
| 8(金) 発育測定(3年) | 21(木) 遠足(2年) |
| 9(土) 学校公開 3時間授業 給食なし | 25(月) 校區別協議会 |
| 11(月) クラブ | 26(火) 遠足(1年) |
| 12(火) たてわり班活動(赤) | 27(水) 就学時健康診断 B時程4時間授業 |
| 13(水) 発育測定(2年) B時程4時間授業 | 28(木) 自転車教室(4年) |
| 14(木) たてわり班活動(青) 発育測定(1年) | |



※感染症の流行状況によっては、予定が急遽変更になる場合があります。ご承知おきください。

何かあったら相談しよう

練馬区では子供たちの心身の育成と身体的な保護のために、相談体制の充実を進めています。新型コロナウイルス感染症対策などを行っている中で、不安を感じたり、悩みをもっていたりする子供たちが増え、不調や不登校など、心と体のバランスが崩れてしまうことがあるかもしれません。自分一人で問題を抱え込むのではなく、誰かに相談することが大切だと考えます。

そのようなときに上小にはスクールカウンセラーと心のふれあい相談員が子供たちの心のケアを行っています。3年生と5年生の全員と面談を行うなど、相談しやすい環境を作り、自分の気持ちを伝えられるようにしています。他にも子供たちのタブレット端末にも相談先が登録されています。グーグルを開き、左側のタブにあるブックマークを開くと各所の相談窓口が画面で確認することができます。何かあったときに様々な方法で自分の気持ちを伝えられることができるよう指導しています。

事務室から

学級担任の用事で学級と名前を言って事務室に来てくれる児童の皆さんとお会いすることがあります。そんな時のお子様の表情は『ここでのいいのかなあ。』という感じです。なかなか馴染みない様子が見受けられます。

事務室には、主に事務員3名、栄養士1名がいます。事務室の仕事を紹介します。

いつも児童の皆さんが食べているおいしい給食の献立を作ったり、教材のお金の管理や教室のエアコンが壊れてしまったときの修理などの管理をしたりしています。

児童の皆さんが安心安全に通える学校づくりを目指して働いています。廊下などで元気に挨拶できたらうれしく思います。



上小ホームページについて

本校のホームページをご覧になったことはありますか。既にブックマークに入れていただいているご家庭も多いかと思いますが、もしまだご覧いただいたことがないようでしたら、『上石神井小学校』と検索していただくとすぐに出てきます。

ホームページでは、お知らせや緊急連絡だけでなく、学校日記として日々の子供たちの様子や、毎日の給食が写真付きで載っています。

あわせて、学校で配布した文書なども載せていますので、積極的にご活用いただければ幸いです。



10月の生活目標 進んで仕事をしよう

ご家庭でも学校でも、快適に楽しく生活するためにはたくさんの仕事があります。例えば、お家では洗濯や食事の支度、買い物、掃除など、家族のためにある仕事を挙げたらきりがありません。その中で、子供たちが担当しているものもあるでしょう。上ばきを自分で洗っている子はたくさんいるでしょう。また、ごみ出しやお風呂掃除などをしている子もいることでしょう。学校生活の中にも仕事があります。例えば教室では、黒板係や配り係、体育係など、それぞれが頑張っている学級のために仕事をしています。給食当番や掃除当番の仕事もあります。

各学級では、制限された生活の中でも自分の任された仕事以外に、学級のために何かできることはないかと考えて、行動している姿も見られます。人との関わりが難しい時期ではありますが、誰かのために何かをしようという相手を思いやる心をもつことができるよう指導してまいります。